



昭和20年

五月三十日か三十一日 静岡県を出发

通常五日で満州へ到着するのが十日ほどかかる。  
日本内地から朝鮮半島釜山との連絡船が  
とたえていたからである。

博多乗船 六月六日夜 — 七日早朝釜山

列車釜山発 六月七日夜 — 九日奉天着

— 十日新京着 (しばらく滞在)



M5 哈爾濱

数日滞在

新京はL6

現在 長春

M4

← N4

N4

(綏化・鉄力・湯原経由)



O4 佳木斯

奉天はK7

現在 瀋陽



O4

鶴立 (現在の鶴崗か)

数日滞在



(佳木斯・綏化等經由)

哈爾濱 ←

KL 4 齊齊哈爾 ←

一泊

K 5 白城子 ←

數日滞在

L 6 新京 ←

白城子は K5  
現在白城

新京出發七月十一日午後——十三日早朝三浪津のりかえ  
軍港馬山到着、夜半出航——山陰の漁港小串に  
早朝到着。——十四日下関から列車——十五日夕刻帰宅

(五)



新京での住所

新京特別市西朝陽北胡同五〇六

片山廣吉宅

鶴立での住所

三江省鶴立県鶴立神社

村松亮一宅

なお、ハルピンでは、松花江のヨットクラブ・極楽寺  
など訪問。

鶴立と白城子は、それぞれ、靜岡県出身の  
开拓団の農村が形成されていたので、その視察。

赤の表示は、地図上の表示です。

移動（各都市の間）は列車による。

加藤太郎様  
加藤太郎様の地図が届きましたので送ります。  
大変おそくなりました。お詫言いたします。

加藤太郎様の住所は左の通りです。  
何か質問がありましたら手紙で聞して下さい。

Kato Taro

3-5-26 Yohai.

Shimada-shi.

Japan.

アシさんと息子さんによろしく  
又おあじしたいとお伝え下さい。

